

第三セクターの経営情報について

報告対象団体		小倉国際流通センター株式会社
会社概要	会社の 事業概要	不動産（高度化倉庫）の賃貸業 所有施設の概要 営業開始：平成 12 年 9 月 1 日 規模：延床面積 14,596 m ² 構造：鉄骨造2階建
	資本金額	465,000 千円
	本市の出資額	20,000 千円
	本市の出資割合	4.3 %
	従業員数	1 人
営業報告の要点		小倉国際流通センターを運営し、テナント 3 社に倉庫貸付を行った。引き続き、経費の削減に努め、老朽化した倉庫内設備の改修に重点を置き、設備の健全な維持管理を図っていく。 当期の売上高は、77,948 千円（前期比 ±0 千円）となった。
収支状況 の要点	当期純利益	5,937 千円
	前年度との比較	○営業利益は、4,531 千円で、 前期比 1,298 千円の減益（-22.3%）となった。 ○経常利益は、4,532 千円で、 前期比 1,498 千円の減益（-24.8%）となった。 ○当期純利益は、5,937 千円で、 前期比 9 千円の減益（-0.2%）となった。
	その他 (剰余金・欠損金、設備 投資、資金調達など)	
繰越利益剰余金		59,720 千円
株主総会 (令和6年6月28日 開催)	監査報告	監査役 1 名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	(1) 決議事項 第1号議案 第27期(令和5年度)営業報告について 第2号議案 第27期(令和5年度)決算報告について 第3号議案 第28期(令和6年度)事業計画(案)について 第4号議案 取締役任期満了による取締役選任について いずれの議案も異議なく承認可決

(令和6年3月31日現在)

第 27 回

定 時 株 主 総 会

令和 6年 6月 28日
於 小倉港湾労働者休憩所

小倉国際流通センター株式会社

目 次

第1号議案	第27期（令和5年度）営業報告について	…1～4
第2号議案	第27期（令和5年度）決算報告について	…5～11
第3号議案	第28期（令和6年度）事業計画（案）について	…12～15
第4号議案	取締役任期満了による取締役選任について	…16

第1号議案

第 27 期

営 業 報 告 書

自：令和 5 年 4 月 1 日

至：令和 6 年 3 月 31 日

小倉国際流通センター株式会社

1 営業報告

(1) 営業概況

平成12年9月1日に営業を開始し、24年目を迎えた今期 594万円の純利益（税引前で880万円）を計上した。内 建物及び設備の老朽化に伴う修理費用の増加を見込み、年間360万円の修繕引当金を計上し、平成27年度からの9年間にて累計2,151万円の修繕引当金の残高となった。

今年度は重量ジャッタースラット更新や建屋雨漏り補修等の設備健全化（修繕引当金戻入426万円）を優先的に実施した。

また、倉庫2階暑熱対策の設備投資は予定通り完遂し、天井からの屋根焼け熱が遮断され作業環境改善に効果を発揮している。

(2) 営業方針

「収益向上の事業運営と今後の経営方針の確立」

(3) 主要な事業概要

不動産の賃貸業

北九州港における物流機能の整備についての調査及び研究に関する業務

北九州港への航路誘致、集荷のための情報収集、調査及び研究に関する業務

前各号に付帯または関連する一切の業務

2 令和5年度経営課題の総括

(1) 確実な設備点検による優先的修理費の投入と今後の課題

自家用動力設備、大型重量シャッター（高さ3.200m・幅10.000m）、エレベーター、垂直搬送機及び消防設備等の主要設備はメーカーによる定期的な点検・診断を実施しているが、経年劣化による設備不良部は各部位で発生している。重量シャッターのスラット不良基は今年度1台を更新したが他4台も更新が必要で有り今後1年毎に順次更新を行う。また、建屋の雨漏り対策はプラットホーム作業に支障の有る庇継ぎ部を全面的に調査し補修を優先した。今後も確実な状態監視を行い緊急性の有る物から計画的に補修を継続して行く。

(2) 稼働率向上に向けた倉庫利用者への協力要請

引き続き顧客へ尽力をお願いした。

3 総務の概況

(1) 総会及び取締役会開催

令和 5年5月25日

第83回 取締役会

- 第26回株主総会 決算書類の承認
- 総会付議議案の決定

令和 5年6月21日

第26回定時株主総会

- 第26期決算報告
- 第26期事業計画報告
- 取締役辞任による取締役選任の件

令和 5年6月21日

第84回 取締役会

- 暑熱対策の設備投資について

(2) 登記に関する事項

令和 5年6月21日

役員に関する事項

(取締役辞任に伴う就任)

取締役	永島	達哉	新任
取締役	鶴丸	俊輔	退任

4 会社の概況

(1) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 10,000株
- ② 発行済株式総数 9,300株
- ③ 当期末株主総数 11名
- ④ 株主の状況

株 主 名	持 株 数 (株)	持株比率 (%)
株式会社上組	1,600	17.20
山九株式会社	1,600	17.20
鶴丸海運株式会社	1,600	17.20
日本通運株式会社	1,600	17.20
山田港運倉庫株式会社	1,600	17.20
日鉄物流八幡株式会社	400	4.30
北九州市	400	4.30
株式会社三菱 UFJ 銀行	400	4.30
株式会社福岡銀行	30	0.33
株式会社みずほ銀行	30	0.33
株式会社西日本シティ銀行	40	0.44
合 計	9,300	100.00

(2) 従業員の状況

	従業員数	備 考
男 子	1名	但し、業務委託先職員
女 子	0名	
合 計	1名	

(3) 企業結合の状況…特に該当なし

(4) 長期借入金の返済状況と借入残高…なし

貸 借 対 照 表

令和 6年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	197,580,905	【流 動 負 債】	3,163,819
現金預金	181,460,477	未 払 金	797,519
売 掛 金	14,290,568	未 払 法 人 税 等	2,365,200
貯 蔵 品	196,460	【固 定 負 債】	21,513,510
未 収 消 費 税 等	1,633,400	修 繕 引 当 金	21,513,510
【固 定 資 産】	351,816,655		
【有 形 固 定 資 産】	351,610,151		
建 物	997,372,574	負 債 合 計	24,677,329
建 物 附 属 設 備	152,880,000	純 資 産 の 部	
構 築 物	35,782,000	【株 主 資 本】	524,720,231
機 械 装 置	55,583,000	【資 本 金】	465,000,000
工 具 器 具 備 品	1,884,000	【利 益 剰 余 金】	59,720,231
減 価 償 却 累 計 額	△391,894,423	(その他利益剰余金)	(59,720,231)
【無 形 固 定 資 産】	145,070	繰 越 利 益 剰 余 金	59,720,231
電 話 加 入 権	145,070		
【投 資 そ の 他 の 資 産】	61,434	純 資 産 合 計	524,720,231
長 期 前 払 費 用	61,434	負 債 ・ 純 資 産 合 計	549,397,560
資 産 合 計	549,397,560		

損 益 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	77,918,586	77,918,586
売 上 総 利 益		77,918,586
【販売費及び一般管理費】		73,417,576
営 業 利 益		4,531,010
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,700	
雑 収 入	133	1,833
経 常 利 益		4,532,843
【特別利益】		
修繕引当金戻入益	4,262,170	4,262,170
税引前当期純利益		8,795,013
法人税、住民税及び事業税		2,857,956
当 期 純 利 益		5,937,057

販売費及び一般管理費

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	額
福 利 厚 生 費	40,000	
旅 費 交 通 費	31,449	
通 信 費	113,639	
租 税 公 課	8,172,032	
消 耗 品 費	29,105	
事 務 用 品 費	51,703	
修 繕 費	6,191,170	
保 険 料	245,733	
支 払 手 数 料	37,650	
減 価 償 却 費	36,703,326	
外 注 労 務 費	3,000,000	
水 道 費	115,393	
電 力 費	3,514,180	
地 代 家 賃	10,171,624	
諸 会 費	6,000	
修繕引当金繰入	3,600,000	
雑 費	1,397,572	73,417,576
合 計		73,417,576

株主資本等変動計算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

(単位：円)

	株主資本										純資産合計		
	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計				
	資本金	資本準備金		資本剰余金 合計	利益準備金	利益剰余金						利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金			任意積立金	その他利益剰余金						繰越利益剰余金
当期末残高	485,000,000						53,783,174	53,783,174		518,783,174	518,783,174		
当期末変動額													
当期純利益							5,937,057	5,937,057		5,937,057	5,937,057		
当期変動額合計							5,937,057	5,937,057		5,937,057	5,937,057		
当期末残高	485,000,000						59,720,231	59,720,231		624,720,231	624,720,231		

個 別 注 記 表

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物は定額法、その他は定率法を採用しております。

無形固定資産・・・定額法を採用しております。

2. 重要な引当金の計上基準

倉庫内物流関連機械装置修理に要する修繕費用の支出に備えるため、その発生見込額のうち当会計年度に負担すべき金額を計上しております。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当期末における発行済株式数

普通株式・・・9,300株

監 査 報 告 書

私は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第27期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告に関する議案および付属明細書を監査しました結果、適正かつ正確であると認めます。

令和 6年 5月 14日

小倉国際流通センター株式会社

監査役 大 塩 航 也



第28期 事業計画

自：令和6年 4月 1日
至：令和7年 3月 31日

小倉国際流通センター株式会社

1 令和6年度の財務及び施設運営方針

(1) 財務上の取り組み

令和5年度における純利益は594万円を計上することができ、今年度への繰越利益剰余金は5,972万円となっている。

令和6年度においては、資金余力を活かし老朽化した倉庫設備の改修に重点を置き、設備の健全な維持管理を図っていく。

計画的な修繕費投入による設備安定化とコスト管理を行い、確実な収益確保を図る。

(2) 施設管理・運営上の取り組み

ア 完成から24年が経過し、施設の老朽化や設備の故障が増加する傾向にある。倉庫作業に直結する主要設備は平成26年度より段階的に補修や老朽更新を行い、設備の安定化を継続している。

平成6年度は、重量シャッタースラット不良基の2基目の更新および、消防設備品感知器の不良品の取替を計画する。修繕費引当金を活用し、長寿命化対策に向けた施設管理に取り組む。

また、耐用年数を既に超過したエレベーターは更新に向けた検討を行う。

(主要設備・施設)

・自家用動力設備	1式
・消防設備	1式
・エレベーター(構内リフト昇降)	1基
・垂直搬送機(入庫製品の横移動と昇降)	3基
・ドックレベラー(エプロン上下調整)	9基
・倉庫エプロン重量シャッター(3.2m×10m)	11枚
・倉庫内重量シャッター	6枚

イ 稼働率100%を維持していくため、引き続き顧客確保の尽力をお願いしていく。

2 令和6年度予定損益計算書

(単位：円)

科 目	令和5年度 実 績	令和6年度 計 画	増 減
[売上高]	77,948,586	77,948,586	0
[販売費及び一般管理費]	73,417,576	74,631,653	1,214,077
営業利益	4,531,010	3,316,933	△1,214,077
[営業外収益]	1,833	2,060	227
受取利息	1,700	1,850	150
雑収入	133	210	77
経常利益	4,532,843	3,318,993	△1,213,850
[特別利益]	4,262,170	4,622,270	360,100
修繕引当金戻入金	4,262,170	4,622,270	360,100
[特別損失]	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
[税引前当期純利益]	8,795,013	7,941,263	△853,750
[法人税等]	2,857,956	2,580,500	△277,456
当期純利益	5,937,057	5,360,763	△576,294
繰越利益剰余金	59,720,231	65,080,994	5,360,763

3 令和6年度予定一般管理費

(単位：円)

科 目	令和5年度 実 績	令和6年度 計 画	増 減
福利厚生費	40,000	70,000	30,000
旅費交通費	31,449	32,000	551
接待交際費	0	0	0
通信費	113,639	115,400	1,761
租税公課	8,172,032	8,086,800	△85,232
消耗品費	29,105	15,000	△14,105
事務用品費	51,703	13,000	△38,703
貸借料	0	0	0
修繕費	6,191,170	7,140,270	949,100
保険料	245,733	245,733	0
支払手数料	37,650	35,650	△2,000
減価償却費	36,700,326	36,662,576	△37,750
外注労務費	3,000,000	3,000,000	0
水道費	115,393	122,000	6,607
電力費	3,514,180	3,865,600	351,420
地代家賃	10,171,624	10,171,624	0
諸会費	6,000	6,000	0
修繕引当金繰入	3,600,000	3,600,000	0
雑費	1,397,572	1,450,000	52,428
計	73,417,576	74,631,653	1,214,077

第4号議案

取締役任期満了による取締役選任について

取締役任期満了による取締役 山田康一朗、永島達哉、徳光昌己、山並博光、那口洋、宮金満は、本総会終結の時をもって辞任致しますので、新たに取締役、6名を選出する。

なお、取締役候補は下記のとおりである。

役 職	氏 名	現在の主たる職業	所有する株式の数	当社との利害関係
取締役（重任）	山田康一朗	山田港運倉庫株式会社 代表取締役社長	0	なし
取締役（新任）	中本 竜彦	山九株式会社 北九州支店 支店長	0	なし
取締役（重任）	永島 達哉	鶴丸海運株式会社 執行役員	0	なし
取締役（新任）	谷口 真吾	株式会社 上組 八幡支店 支店長	0	なし
取締役（重任）	那口 洋	日本通運 株式会社 ひびき海運支店 支店長	0	なし
取締役（新任）	小田 聡	北九州市港湾空港局 港営部長	0	なし